


(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|----------------------------------|---|
| 実習企業・機関 | 庄内観光コンベンション協会 |
| 実習期間 | 令和 元年 8月 29日 ~ 令和 元年 9月 2日 |
| 学生氏名 | 斎藤 万由子 |
| 実習プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ○東北観光復興対策交付金事業 モニターツアーアテンド同行 ○外航クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」岸壁でのおもてなし ○鳥海山 SEA TO SUUMMIT 開催に関する事務・受付 ○外航クルーズ船受入残務整理 ○インターンシップのまとめ |
| 学び・気づき (300字程度) | <p>国土交通省がまとめたものによると、定住人口が1人減少した際、外国人旅行者8人分または国内宿泊旅行者25人分または、日帰り旅行者81人分で補えるということが分かっている。そのため、庄内観光コンベンション協会ではインバウンド、外国人の観光客に力を入れているということが分かった。私は庄内地域出身だが、庄内の今まで知らなかった観光やイベントを体験させていただき知ることが出来た。</p> <p>また、大きな全国的環境スポーツイベントに参加させてもらったが、参加者のほとんどが中高年の方だと感じた。ネット社会であるこの世の中、若者は大体SNSで情報を得ている。イベントに若者を多く参加してもらうには、ネットでの情報発信が必要だと感じた。</p> |
| 今後に向けた 抱負 (200字程度) | <p>今回のインターンシップで、コミュニケーション能力の大切さを感じさせられた。今後の就職活動などでもコミュニケーション能力がある人と差が出てくると思っている。今後仲の良い友達だけではなく、普段から積極的に多くの人と関わり対話力を磨いていきたいと思う。また今自分自身の情報収集が少なく知らないことばかりだったと思った。多くの情報を捉え常に敏感に対応できるように心がけたい。</p> |
| インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字) | <p>庄内観光コンベンション協会は、ホームページを作ったりとパソコンでの作業だったりデスクワークのイメージだった。だが、実際にインターンシップをして、視察や、多くのイベントに関わり、実際に現場に参加していることが分かった。また、多くの企業の人と交流し関わる事が出来るというのは1つ大きな魅力ではないかと感じた。庄内の魅力を発信する業務は、ホームページだけでなく、イベント、様々なところに宣伝しに行くなどと多忙ではあるが、これらのことをすることは、とてもやりがいのある仕事なのではないかと感じた。</p> <p>庄内の観光を支えているこの協会の仕事は、分かりにくいところがあるが、庄</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>内全域の観光に特化した情報発信することによって、庄内のイベント、観光産業が成り立っているのではないかと感じた。</p> |
| 写真 (1~3点) |  |

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|-----------------------------------|--|
| 実習企業・機関 | 庄内観光コンベンション協会 |
| 実習期間 | 令和 元年 8 月 29日～令和 元年 9月 2 日 |
| 学生氏名 | 加藤遼真 |
| 実習プログラム | 1 日目（8：30～17：00） 庄内での外国人向けモニターツアーアテンドに同行 2 日目（6：00～12：00） 酒田北港小湊ふ頭にてクルーズ船おもてなしの補助 3 日目（12：45～17：00） 鳥海山SEA TO SUMMIT受付の補助 4 日目（5：15～11：15） 鳥海山SEA TO SUMMIT運営の補助 5 日目（9：00～17：15） 雑務、全体の振り返りとまとめ |
| 学び・気づき （300 字程度） | <p>今回の実習では主に観光や地域に関するイベントの同行や補助を行った。そのため、庄内コンベンション協会や行政、地域が観光に対してどのようにアクションを起こしているかよく知ることが出来た。</p> <p>外国人向けモニターツアーアテンドに同行やクルーズ船おもてなしの補助を行ったが、山形や庄内に年々外国人観光客が増えており、やはり観光の視点を外国人に向けることが最も効果的であると改めて学んだ。また、なぜ外国人観光客に視点を当てるかについての重要性も実習指導内でよく学んだ。それは、外国人観光客のほうが国内旅行者よりもお金を落としてくれることでより地域に利益が出るということであった。しかし、同時に外国人観光客といってもそれぞれの国の人に合わせる対応が異なるため、視点を絞って当てていくことも必要であるという難しさも感じた。</p> |
| 今後に向けた 抱負 （200 字程度） | <p>クルーズ船ではやはり外国人ばかりなので英語対応が多かった。そのため、自分も多少は対応したがうまく伝わらない場面もいくつかあった。その対策として、通訳ボランティアが何人かいたが、今回で英語の重要性が改めて分かった。また、自分自身もさらに英語力をつけていかなければならないと感じた。</p> <p>まだ、こっちに来ただけというところもあるが周辺の観光に関する場所や施設が全然わからなかったため、今後も自分から出歩いて知る必要があると感じた。そして、進んで観光について学んでいこうと思う。</p> |
| インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 （300 字） | <p>庄内観光コンベンション協会ともあり、外国人向けモニターツアーアテンドに同行やクルーズ船のおもてなし、鳥海山SEA TO SUMMITの運営補助など観光に関するイベントに携わることが出来たため、より身近に観光やイベントの効果を感じながら有意義な実習を行うことが出来た。</p> <p>空いた時間でも観光についての現状や今行っている、行おうとしている施策や政策についての詳しいことの話聞き、また、観光に関する雑務をさまざま行ったため、より観光について学ぶことが出来た。</p> |

観光ということできざまな体験ができ、学ぶことができるので、観光についてのスキルアップにつながる。また、観光についてより理解を深めることができる。

写真（1～3点）

○クルーズ船（ダイヤモンド・プリンセス）酒田北港小湊ふ頭入港



○鳥海山SEA TO SUMMIT 鳥海山5合目



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---|--|
| 実習企業・機関 | 庄内観光コンベンション協会 |
| 実習期間 | 令和 元 年 8 月 29 日 ～ 令和 元 年 9 月 2 日 |
| 学生氏名 | 竹内拓将 |
| 実習プログラム | 一日目 外国人向けツアーアテンド同行 二日目 外航クルーズ船おもてなし、中町視察 三日目 鳥海山 SEA TO SUMMIT 受付業務 四日目 鳥海山 SEA TO SUMMIT 補助 五日目 外航クルーズ船残務処理、伝票記入 |
| 学び・気づき (300 字程度) | 今回の実習で多くの事を学ぶことが出来た。特に、二日目の外航クルーズ船のおもてなしをする仕事は特に心に残っている。クルーズ船に乗っている観光客の皆さんは、外国人の方々が多く乗船しており、外国人の方々に酒田市の地図を渡し、受け答えをする場面が多かった。相手が普段接することのない外国人だったため、自らの積極性が足りないこと、英語能力の乏しさを実感した。また、この五日間で私の地元である庄内地域を回る機会があったのだが、庄内の知らないことが多くあり、庄内を改めて考えることが出来た。 |
| 今後に向けた 抱負 (200 字程度) | 今回のインターンシップで私に足りないものを改めて理解することが出来た。一番大切だと思ったことは積極性だ。これから先の生活では就職活動やグループワークなども増えてくるだろう。そんな時、このインターンシップで培った積極性を活かし、率先して行動していきたいと考えている。また、英語の重要性についても実感することが出来たため、今以上に英語を勉強していこうと考えている。 |
| インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300 字) | 今回インターンシップに参加させていただいた庄内観光コンベンション協会さんの魅力は、職場の一体感だ。インターンシップに参加した五日間、職場の様々な人とお話を聴くことが出来る機会があったのだが、それぞれ一人ひとりが庄内地域を活性化させるという思いがあった。そのため、職場の一体感、チームワークが良く充実した仕事ができる職場だと感じた。「庄内地域を活性化させたい」という思いがある人、観光に携わる仕事に就きたいと考えている人たちにはとても良い環境だ。 |

写真 (1~3 点)

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---|---|
| 実習企業・機関 | 庄内観光コンベンション協会 |
| 実習期間 | 令和 2年 3月 2日 ~ 令和 2年 3月 6日 |
| 学生氏名 | 豊田 泰乃 |
| 実習プログラム | 庄内観光コンベンション協会の説明拝聴と庄内ひな街道の現地視察 「やまがた庄内観光サイト」の説明と庄内地域のモデルコース案の作成 新潟県と庄内エリア DC についての説明拝聴と羽黒山の視察 庄内地域のグリーンツーリズムについての説明拝聴 外航クルーズ船の受入についてと秋田県との広域連携についての説明拝聴 |
| 学び・気づき (300 字程度) | 庄内の魅力を発信していることは知っていたが、随所に斬新さやこだわりを感じ ご説明を拝聴して大変勉強になった。双方の組織で企画をする際も、一過性 のものではなく、未来を念頭においた工夫がなされている内容のものが多く見受 けられ、多くの得るものがあった。情報発信のほかに他の団体と交流を図るとと もに、知名度のカバーが出来る点は大変興味深いと感じた。 |
| 今後に向けた 抱負 (200 字程度) | 観光業に関わる職業だからといって、業務内容が観光に携わることだけではない ということが改めて分かった。ほかにも他の生徒へのフォローが瞬時に思いつか なかったりなど、グループで連携しきれなかったことが少し見受けられると感じ る。目的であった会話力と感情制御力などは以前より上達した気がするが、今回 の経験を経て自分にはまだ至らない点が多々あると知った。 |
| インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300 字) | 多種多様の組織と連携して、企画をつくることが多いので庄内の魅力だけではなく、他の地域の魅力や文化などに触れることが出来る。更に庄内地域を外部にア ピールしていく上で、地域の方々との連携が必要不可欠なので、沢山の人の交 流を深めることが出来る。それだけではなく、外航クルーズ船の企画運営もして おり、外国語の習得など仕事をこなしていくとともに自分の技術向上も望めると 感じた。 |
| 写真 (1~3 点) |  |

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|----------------------|--|
| 実習企業・機関 | 庄内観光コンベンション協会 |
| 実習期間 | 令和 2年 3月 2日 ~ 令和 2年 3月 6日 |
| 学生氏名 | 井上稜也 |
| 実習プログラム | <p>3/2 (月) 庄内観光コンベンション協会についての説明拝聴。 庄内ひな街道についての説明拝聴。 庄内ひな街道現地視察。</p> <p>3/3 (火) 「やまがた庄内観光サイト」についての説明拝聴。 庄内ひな街道視察内容の SNS 投稿文の作成。 庄内地域のモデルコース案の作成</p> <p>3/4 (水) 新潟県・庄内エリア DC についての説明拝聴 羽黒山五重塔視察 グリーンツーリズム推進事業の展開についての説明拝聴。</p> <p>3/5 (木) 外航クルーズ船の受入について説明拝聴 酒田港の分析。 秋田県との広域連携についての説明拝聴。 環鳥海地域連携事業についての説明拝聴</p> <p>3/6 (金) 庄内地域農林水産業若者賞授賞式について・会場設置 物品整理。 庄内・最上地域の視察</p> |
| 学び・気づき (300字程度) | <p>庄内観光コンベンション協会の実習で私は「最新情報の重要性」「多様な視点」「持続性」の3つのことを学んだ。</p> <p>「観光振興」というものは常に新しい情報を取り入れ、アンテナを張っていないといけないということ、第2に様々な人々の立場になって考える「多様な視点」が観光では必要とされていること。第3に「持続性」である。これは3日目に「DC はキャンペーンとして一過性として終わるのではなく、持続的に観光誘客するためのきっかけなのであると学んだからである。</p> <p>以上の点を踏まえて何回か観光モデルコースを作成する時間がいくつあった。「最新情報」「多様な視点」「持続性」を考えながら作っていると、日にちを増すごとに良いものになっていると実感できた。</p> |
| 今後に向けた抱負 (200字程度) | <p>今回の実習で私は「年上だからリーダーシップ力があって当たり前」「年下の自分を出しゃばりすぎないようにすべき」というように一緒に実習を行った先輩方に対して勝手な思い込みがあったためにもとの自分のパフォーマンスが発揮できなかったことであると考え、今後このようなことが起きないように自分の考えを主張することを怠らないことでより良い行動を可能にすることが大切だと学んだ。</p> |

| | |
|----------------------------------|---|
| インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字) | 私は庄内総合支庁内にある庄内観光コンベンション協会に対して「公務員なので少し堅い職場環境なのではないか」と思い込んでいたが、実際に実習をさせていただいた際に笑顔の飛び交う明るい職場環境だと感じた。さらに庄内観光コンベンション協会とされているため、庄内のことだけなのかと思いきや、他県との連携、公共交通機関の企画との連携等、様々な分野と産業を巻き込んでいる、庄内から、山形全体を盛り上げることも可能にする協会だと5日間の実習でいくつかの企画の説明拝聴をさせていただいた際に感じた。 |
| 写真 (1~3点) | |